

第574回 長崎放送番組審議会

議事次第

(1) 開 会

(2) 社側挨拶

(3) 視聴

テレビ番組 新 窓をあけて九州

「お笑いを一席」

(平成 28 年 12 月 11 日放送)

議事の概要

長崎放送の番組審議会は1月17日(火)に第574回の審議会を開いた。冒頭、東 晋社長は番組審議会委員の近況や、平成29年春の会社方針などを報告した。そのあと、12月11日(日)朝10時から放送したテレビ番組・新 窓をあけて九州「お笑いを一席」を視聴・審議した。

故郷佐世保市に戻り、子供を対象に落語を通じた自己表現を指導する元放送作家・海老原靖芳さんを中心に描いたドキュメンタリー。委員からは概ね次の意見があった。

- 最初から最後まで楽しく見られた。子供たちが目標を持って、稽古から本番まで褒められて成長していく表情と緊張感がよく描かれていた。
- 放送作家として第一線を歩んできた海老原さんは、子供たち一人一人を良く見てその個性に合わせた指導をされており、大変参考になった。
- 全体の構成が大変良かった。故郷を想い、佐世保の子供たちに笑顔をとという目標を背景とした海老原さんの心温まる指導に感心した。
- 落語、着物といった文化に触れる貴重な機会で、落語を通じた絆が子供たちを変え、親を変え、地域社会を元気にすることに感動した。
- 落語会本番の見せ方が良かった。緊張する子供の手のアップや、終わって安堵する表情などを捉えたカメラワークも絶妙だった。
- 子供が小さいときに会える大人からどのような影響を受けるのか、それがいかに大切であるかを、改めて感じさせる番組であった。